

# タウンピックス

## 9月1日は防災の日



9月1日の防災の日を前に、加古川流域の7市1町において、合同防災訓練が一斉に行われ、警察、消防、自衛隊など総勢約1300人が参加し、災害発生時の連携を確認。

加西市では、採石場で、かけ崩れを想定した訓練と、善防池にて、河川氾濫により浸水した家屋の屋根のうえに家人が取り残された場面を想定した訓練が行われました。

## 夫婦元気で仲むつまじく～高齢者夫婦記念撮影～



社会福祉協議会では高齢者夫婦のお祝いとして数え年の合計159歳及び160歳となるご夫婦の記念撮影を実施。撮影は宮本久雄さん（北条町古坂）。昭和34年から毎年ボランティアで撮影を続

けられています。  
今年は3日にわけて、51組のご夫婦のお宅を訪問されました。

## 北条の宿 子供が主役の地蔵盆



8月24日。栗田区大日地蔵尊で数珠繰りが行われました。地蔵盆は、子供の守り佛として古くから受け継がれており、大きくて長い数珠を子供たちみんなで回して『元気！』を誓います。

## 真夏の夜の夢 月下美人の開花



8月14日。古坂の定行さん宅で月下美人が開花しました。月下美人は、その名前のとく、真夏（7～9月）の夜、一晩のみ開花し、甘い香りで楽しませてくれます。

## すすめよう・考えよう「人権のこと」



8月20日。加西市民会館で「人権文化をすすめる市民のつどい」が開かれ、「人権文化をすすめる市民運動」のポスター・標語入賞者17名の表彰と野口克海氏の人権講演が行われました。

## お母さんの顔がみたい～目の見えない子らからのメッセージ～



三日町の「ふく蔵」にて、企画展「魚の足はまだ見ていません」が行われました。同展では神戸市立盲学校の生徒たちが制作した粘土像200点余りを展示。子どもたちが自分の指先の感覚だけを通して感じた心象が、素直に生き生きと伝わってきました。

## 懐かしい顔に再会。同窓会列車運行!



8月12日。北条鉄道同窓会列車が運行されました。富合中学校34年卒の同窓生、担任あわせて40名が参加し、往復約1時間の旅を楽しみ、その後も列車の中で懐かしい話に花を咲かせました。

## 幻想の炎 羅漢寺千灯会



8月8日。羅漢寺で、ろうそくの火をともして先祖を供養する千灯会が行われました。境内は幻想的な光につつまれ、浴衣やじんべえさんを着た参拝客が、入口で配られたロウソクを羅漢さんに献灯し、願いを唱えました。